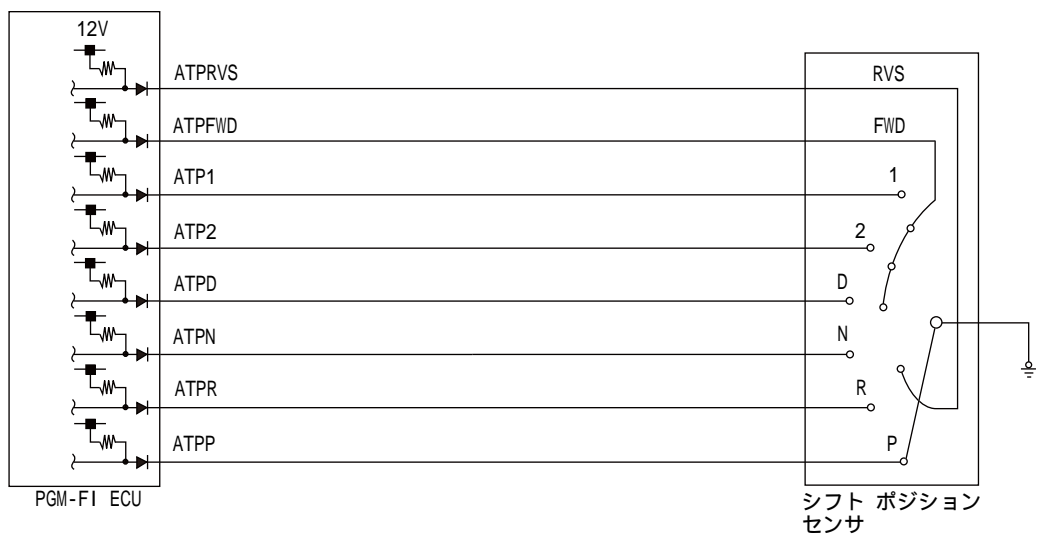


# DTC 解説

## DTC P0705: シフト ポジション センサおよびセンサ回路短絡 (AT システム)

### 検知原理解説



01\_P0705C\_SYYPB00

セレクト レバー シフト ポジション センサ接続表

セレクト レバー	シフト ポジション センサ信号入力							
	P	R	RVS	N	D	2	1	FWD
P		x	x	x	x	x	x	x
R	x			x	x	x	x	x
N	x	x	x		x	x	x	x
D	x	x	x	x		x	x	
2	x	x	x	x	x		x	
1	x	x	x	x	x	x		

: L0 信号 - クローズ (0V)

x: HI 信号 - オープン (5V もしくは 12V)

シフト ポジション センサは、トランスミッションのコントロール シャフトに固定されている。運転者のセレクト レバー操作により、コントロール ワイヤを介しコントロール シャフトが回転する。コントロール シャフトの回転角度による L0/HI の信号で、どのポジションが選択されているかをシフト ポジション インジケータに表示している。また、コントロール シャフトはシフト ポジション センサの操作とともに、マニュアル バルブを操作することによりトランスミッションの前進 / 中立 / 後退の油圧切替えも行っている。PGM-FI ECU は、シフト ポジション センサからの信号を、変速スケジュールを決めるために使用する。PGM-FI ECU の入力端子電圧は、シフト ポジション センサ内の各スイッチがオープン時は HI、クローズ時は L0 となる。セレクト レバーにより選択されたシフト ポジション信号と異なるシフト ポジション信号が同時に入力された場合、PGM-FI ECU は故障と判定し、DTC をストアする。

# DTC 解説

## 検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・OBD ステータス

検知頻度	常時
( 当該 DTC の ) 検知順序	なし
検知所要時間	1 秒間以上
検知手法種別	1D/C( 単一検知手法 )、PGM-FI 警告灯：消灯、D 表示灯：点滅
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle( ドライブ サイクル )

## 検知実行条件

条件項目	下限	上限
バッテリー電圧 [ バッテリー電圧 ]	11V	

[ ]: HDS パラメータ

## 故障判定基準

次のいずれかが成立した場合。

- ・セレクト レバーで選択された信号入力とは別のポジション信号入力が同時に 1 秒間以上継続する場合。(FWD ポジション信号入力 [ フォワード SW] は除く)
- ・P、R または N ポジション信号入力 [AT P、R または N SW] と同時に FWD ポジション信号入力 [ フォワード SW] が 1 秒間以上継続する場合。

## 推定故障部位

- ・PGM-FI ECU とシフト ポジション センサ間コード ( 各スイッチ ライン ) の短絡
- ・シフト ポジション センサの故障
- ・PGM-FI ECU 内部回路の故障

## 再現テスト手法

### HDS を使用する方法

なし。

### 実際の代表的テスト走行による方法

1. エンジンを始動する。
2. ブレーキ ペダルを踏んだ状態ですべてのセレクト レバー ポジションにてそれぞれ 1 秒間以上待機する。

## DTC のストアとクリア

### DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI 警告灯が点灯することなく、D 表示灯が点滅し、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがストアされる。

### DTC のクリア

スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより D 表示灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。